

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（用排水施設整備事業）																										
地区名	大塚地区																										
事業箇所	西尾市一色町																										
事業のあらまし	<p>本地区は、西尾市南部に位置し、一級河川矢作古川の右岸に位置する流域面積 115ha の低平な農村地帯である。地区内の排水は大塚排水路を流れ、干潮時には排水樋門により三河湾へ自然流下しているが、満潮時や洪水時には自然排水が不能となるため、下流の排水機場により三河湾へ強制排水している。</p> <p>しかし、地盤沈下による機能低下及び地区内開発による降雨流出量の増加により、地区の排水状況は著しく悪化しており、豪雨時にしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい排水路を更新整備することにより湛水被害を防止し、農業経営と県民生活の安定を図ることを目的として、平成9年度から用排水施設整備事業大塚地区を実施し、平成21年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した排水路を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 （基準雨量 252.5 mm/3日 1/10年確率雨量）</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	11億円		■工事費 9億円、■用補費 1億円、■その他 1億円																								
事業期間	採択年度	平成9年度	着工年度	平成9年度	完成年度	平成21年度																					
	排水路工 2,082m																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設供用後からの5年間で、3日連続降雨量では平成21年5月5日～7日に最大196.5 mm/3日の雨量を観測し、最大1時間降雨量では計画以上の69.0 mm/hの雨量を平成24年9月11日に観測している。</p> <p>この間、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （一色観測所データ）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>252.5 mm</td> <td>196.5mm</td> <td>114.0mm</td> <td>187.0mm</td> <td>116.5mm</td> <td>162.5mm</td> </tr> <tr> <td>最大1時間降雨量</td> <td>58.9 mm</td> <td>30.0 mm</td> <td>53.0 mm</td> <td>43.0 mm</td> <td>69.0 mm</td> <td>58.5 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準雨量以下であるが、最大1時間降雨量では計画以上の雨量に対して湛水被害は発生しておらず、本事業は、地域の農業経営の安定化に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H21	H22	H23	H24	H25	最大3日連続降雨量	252.5 mm	196.5mm	114.0mm	187.0mm	116.5mm	162.5mm	最大1時間降雨量	58.9 mm	30.0 mm	53.0 mm	43.0 mm	69.0 mm	58.5 mm
	区分	計画	H21	H22	H23	H24	H25																				
最大3日連続降雨量	252.5 mm	196.5mm	114.0mm	187.0mm	116.5mm	162.5mm																					
最大1時間降雨量	58.9 mm	30.0 mm	53.0 mm	43.0 mm	69.0 mm	58.5 mm																					
2) 副次目標の達成状況	該当なし																										

② 事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】					
		事業採択時 (H9)	完了時 (H21)	実績 (H25)	備考	
	事業期間		H9～H17 (9年間)	H9～H21 (13年間)		
	事業費 (億円)	工事費	9	9		
		用地補償費	1	1		
		その他	1	1		
		合計	11	11		
	効果の 算定要因	流域面積	115ha	115ha	115ha	増減なし
		被害面積	41ha	41ha	41ha	増減なし
		農地面積	27ha	27ha	26ha	△1ha
宅地等面積		14ha	14ha	15ha	+1ha	
<p>【事業期間に対する評価】 事業工期を平成21年度まで(4カ年)延長したが、既存の排水路を生かしながら工事を進めたため、溢水による被害は発生しておらず、期間延期による影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】 概ね計画通りに完了できた。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 完了時と比較して、地目が変わっているが、流域面積及び被害面積の増減はない。 排水路の更新整備により、湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>						
③ 事業実施による環境の変化	<p>本地区は、既設の排水路を更新整備したものであり、影響が限定的であったこと、また、工事施工にあたり、低騒音、低振動の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したため、自然環境や生活環境へのマイナス影響はほとんどない。</p>					
III 対応方針(案)						
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。					
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。					
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。					
IV 事業評価監視委員会の意見						
大塚地区の対応方針(案)〔改善措置等の必要なし〕を了承する。						
V 対応方針						
改善措置等の必要なし						